

# おがまち日奈久ニュース

## 初春を駆けつけた 第50回町内対抗駅伝競走大会



一斉に走り出す  
1区の選手

令和4年の幕開けは、素晴らしい天候に恵まれ、第50回町内対抗駅伝競走大会が7区間で開催されました。昨年はコロナ禍のために開催できず、今年ようやく第50回の記念大会を開催することができました。

しかし、人口減少や高齢化、コロナ禍で帰省できないなどの様々な要因で、参加チームはわずか4チームでした。それでも新年から開催できたことが大きな喜びで、参加選手はもちろん、応援する住民にも笑顔があふれていました。

結果は次の通りです。

- 1位 山下町・竹之内町合同チーム
- 2位 新田町、3位 大坪町、4位 塩北町・新開町・塩南町合同チーム
- 区間賞は次の通りです。(敬称略)
- 1区 伊藤礼起(山下・竹之内) 2区



優勝した山下町・竹之内町合同チーム

## あかりの社会実験 ナイトハイイクで検証



挨拶する今田会長

12月1日(水)にスタートした「日奈久あかりプロジェクト」について、実際にナイトハイイクをしての意見交換会が、12月20日(月)に実施されました。参加者は、ゆめ倉庫に集合して、ナイトアップされている箇所を見て回りました。その後、ゆめ倉庫にて各自の気づきを出し合い、意見交換がなされました。

まず、湯の里振興会の今田会長が、「今日、ナイトアップを見られての様々な意見を次に活かしていきたいと考えています」と話しました。その後、参加者から様々な意見が出されました。

○棧敷席の影絵は、色々あって良いが、八代にゆかりのある大きな影絵が良い。もっとはっきりした方が良くい。



気づきを話し合いながら歩く参加者

○稲荷神社の赤い鳥居がもったいないので、ナイトアップしたらどうか。

○本殿の麒麟等の彫り物に光を当てたらどうか。

○棧敷席や竹林など足を踏み外さないように安全面の確保が重要である。

○港の舟の灯りが海に映っていないかった(汐の関係?)

○竹林の色は、一色で良いのではないか。

○階段の下りは足元が見えにくいので、両側に灯りを付けた方が良い。

○維持管理は、誰がしていくのか。器具の破損や盗難などの問題もあるのではないか。

○見学コースができた方が良い。

このほかにも、他の路地とのあかりが違ったり、暗かったりしているのので、統一した方が良いのではないかと、様々な意見が出されました。

## 春を呼ぶ「ひなぐ雛祭り」2月12日(土)~3月6日(日)に開催

昨年引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、今年も「ひなぐ雛祭り」は、多くのイベントが中止されることになりました。それでも、コロナに負けじと、次のイベントが、開催されます。

◆スタンプラリー  
場所 温泉旅館 おりや、日奈久ゆめ倉庫、ばんべい湯  
◆雛飾り展示  
場所 おりや、温泉旅館(八代屋を含む) ばんべい湯、日奈久ゆめ倉庫

◆「やつしろ」のお雛祭り関連行事  
◆「フォトコンテスト」  
◆「やつしろのお雛祭り」部門①プリント部門②プリントにて応募

◆「やつしろ」のお雛祭り関連行事  
◆「フォトコンテスト」  
◆「やつしろのお雛祭り」部門①プリント部門②プリントにて応募

◆「やつしろ」のお雛祭り関連行事  
◆「フォトコンテスト」  
◆「やつしろのお雛祭り」部門①プリント部門②プリントにて応募

令和4年2月号  
(第150号)  
発行者  
日奈久住民自治会

日奈久の人口  
(12月末現在)  
男 1,118人  
女 1,358人  
計 2,476人  
(前月比+2人)  
(2009年末3,444人)

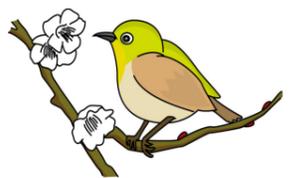
「ありがとう」が  
行き交うまち 日奈久  
身近な人に「ありがとう」  
愛する日奈久に「ありがとう」  
訪れる人に「ありがとう」

## 2月の行事から

- 11日(金) 建国記念の日
- 12日(土) 「ひなぐ雛祭り」  
開催~3月6日(日)
- 15日(火) 日奈久中学校2年  
立志式
- 23日(水) 天皇誕生日

## <住民自治会関係会議等>

- 10日(木) 市政協力員例会
- 15日(火) 運営委員会
- 16日(水) 広報部会



## 住民自治会運営委から

1月17日(月)開催の運営委員会から、記事として扱っていない主な事項についてお伝えします。

○町内連絡委員会  
・球磨川豪雨災害復興プロジェクト  
球磨川リバイバルトレイルは、3月5日(土)~6日(日)に開催されます。515名の参加、シー・湯・遊ゴールで開催される予定です。

・2月5日に市庁舎落成式が行われます。

○スポーツ文化部  
・1月16日の校対抗駅伝大会は、コロナのため、中止となりました。

○旅館組合  
・2月6日(風呂の日)の無料開放

## 日奈久歴史散歩

### 助さんは日奈久にも来た

国民的テレビドラマ「水戸黄門」でおなじみの助さん、格さんのお二人、テレビ画面が破れんばかりに大活躍します。その助さん(佐々木助三郎)は、実は実在の人物がモデルとなっています。その人は佐々宗淳(むねきよ)通称介三郎。その父はかつて熊本に加藤家に仕えていました。

延宝2年(1655)水戸藩に仕官し、進物番兼史館編集として徳川光圀に召し抱えられました。光圀のもとで「大日本史」の編集に携わった中心人物の一人です。古文書などを調べ、その真偽を鑑定する学力があつたといわれます。

その助さんこと佐々介三郎が貞享2年(1685)に日奈久に立ち寄っていることが八代市立博物館資料で分かりました。当時45歳。主君水戸光圀の命により、全国の資料収集を目的とし、各地を歴訪して行きました。日奈久についてどんな記事や感想を書いたのでしょうか。ちょっと知りたいたいところ。テレビと違って残念ながら?! 学究さんだったのでね。

元禄11年(1698)58歳で亡くなりました。格さん(渥美格之進)こと同僚でもあった友人の安積兵衛は介三郎の墓に「おおらかで正直、細かいことにこだわらない」「よく酒を飲む」と書いています。

さらに、夢を壊して申し訳ないのですが、黄門様は全国漫遊なんぞ無かったと聞いています。

## 今年の「ふれあい祭り」は コロナ感染拡大防止のため中止となりました。

肥後銀行日奈久支店の現在地での営業は、3月4日(金)までの予定です。ATMは残されます。

※本文は光本照夫さん(山下町)からいただいた原稿に少し加筆しました。ありがとうございました。

(広告欄)

### 燃え上がる炎に今年の健康を祈る

#### どんどや2年ぶりに開催

主催 日奈久住民自治会 主審 企画イベント部会

今年のどんどやは、1月8日(土)9時点火で開催されました。前日の準備は、7日9時から塩南町の山林での竹の切り出しに始まり、その竹を日奈久小・中学校グラウンドへ運び組み立てました。今年も、7日が冬期休業中ということもあり、日奈久中学校の先生方、生徒、PTAのみなさんの協力があり、小中学校の樹木を伐採した物等を入れ込み、午後2時30分には櫓を完成しました。



準備に奮闘する中学生

8日(土)は、晴天で風もなく絶好の条件でした。9時に点火されると



火に当たり無病息災を願う人々

瞬く間に炎が立ち上りました。会場には、延べ100人の地域住民が参加し、燃え上がる炎に歓声が上がりました。時折大きな竹の破裂音が、炎とともに、世の中の厄を振り払っているようでした。火が落ちてくると、持ち寄った餅やさつまいもを焼いて食べる姿が見られました。「今年は無事にできて良かったなあ」という声があちこちで聞かれました。後始末の中で金具が出てきたことが話題になりました。また、プラスチック類は燃やすことができません。

ので、正月飾りを入れる場合は、付いている金属やプラスチックなどは外して頂くようご協力ください。準備から後片付けまでご協力頂いた皆様、大変お疲れ様でした。特に消火や後片付けにご協力頂いた八代消防団第24分団の皆様、最初の土入れと最後の後片付けまでご協力頂いたアグリ日奈久皆様には、心より感謝いたします。なお、降灰により大変ご迷惑をお掛けしました。ご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

### ちくわ焼き体験を開催

TEAM I ♥ 日奈久

日々日奈久を盛り上げようとがんばるTEAM I ♥ 日奈久のメンバーが、1月16日(日)午前10時から、ばんべい湯前広場で開催しました。DMOやつしらの中村和博さんも参加されました。

日曜日ということもあって、「ちくわ焼き体験」ののぼり旗

を見つけ、風呂上がりの家族連れが来られました。早速、竹の棒に魚のすり身を巻き付けてもらいました。それを手でならしてちくわの形にしていき、炭火の上で並べました。ゆつくり竹の棒を回しながら焼いていると、湯気が出てきて、少しずつ色が変わってきました。良い色に焼けると、係の人にちくわを抜いてもらいました。4月に小学校に入学する予定の青山わ



ちくわ焼きを楽しむ皆さん

### 迎春のあかり 鮮やかに!



見事に浮かび上がったあかり

今年は、温泉神社のライトアップが行われていました。が、土俵にはあかりがありませんでした。そこで、土俵にあかりで新年を彩ろうと、小林宮司他有志によるあかりが点灯されました。今年も千支の虎を描きました。また、温泉神社が今の場所に遷座して200年に当たることから、その文字も入れました。光の色の数を増やし約1000個の灯りで描きました。参拝された人からは、「きれいなあかり、すばらしい」との賞賛の声が寄せられました。

### 日奈久の子どもたちへプレゼント届く

横浜市の久山喜昭様から

12月17日、編集部に大きな封筒が届きました。本紙愛読者の久山様からです。日奈久小・中学校、みずほ保育園それぞれに手紙が同封されていました。手紙のコピーには、「学校生活を通じて人が助け合う大切さと感謝する心の大切さを学んだこと」「園児たちが季節ごとに駅の飾り付けをしていること」に胸を打たれたなどと書かれています。学校・園に届けて見ると、クリスマスカード、ポストカード、を送るための郵便切手も数多く入れられていました。学校や生徒からお礼の手紙や写真が届いたと新年早々、久山様から手紙が送られてきました。



プレゼントに見入る日奈久小の子どもたち

のコロナ禍の中、みんなが様々な経験をしながら、がんばっていることが聞けてとても良かった」と話しました。これからも定期的に呼びかけて、集まっていく予定だそうです。

### タイムカプセルに歓声

平成25年度日奈久小学校卒業生大集合

代表の廣田大翔さんの呼びかけで、1月5日(水)に顔を合わせ、奈久小学校を卒業した新成人15名(16名中)とその保護者で



参加者そろって記念撮影

このクラスは、16名中女子は3名という構成でしたが、とても仲が良く、まとまりのあるクラスだったそうです。毎年年末には集まって、神社に参拝に行ったりしていたそうです。今年成人式を迎え、卒業の時に全員で作成したタイムカプセルを開けることに

しました。田並昌也さんが保管していたタイムカプセルを開けると、中には20歳になった自分への手紙や思い出の品物、教室に掲示してあったクラスの目標などが入っていました。みんなから「懐かしい」との声が上がりました。担任の宮田先生からは、「みんな成長して分らなかった」との話があり、当時の学級通信をまとめた物や各自が当時描いた絵などが渡され、小学校時代の話を盛り上がりました。サプライズで来られた日奈久中学校時代の担任で、オペレッタ「レ・ミゼラブル」を指導された山下かおる先生も、みんなの成長ぶりに驚かされていたそうです。呼びかけた廣田君は、「現在

担任の宮田先生からは、「みんな成長して分らなかった」との話があり、当時の学級通信をまとめた物や各自が当時描いた絵などが渡され、小学校時代の話を盛り上がりました。

### よろしくお願ひします



大西英治さん

昨年夏の異動に伴い、熊本中央警察署から日奈久交番勤務となりました。大西英治(50歳)です。皆様と共に、地域の安全確保に努めて参りますので、よろしくお願ひします。



藤井聡さん

昨年夏の異動で坂本駐在所から日奈久交番勤務となりました藤井聡(31歳)です。八代警察署での勤務は2年目となります。パトロールなどを通じて、安心して暮らせる地域の実現に努めて参りますので、よろしくお願ひします。

(広告欄)